



千葉市立貝塚中学校 学校だより

校訓： 自主・創造・練磨

第 18 号

令和 5 年 3 月 24 日発行

千葉市立貝塚中学校

TEL231-7077

◆令和 4 年度を振り返って◆ ～新型コロナを乗り越えた自信を糧に～

校長 山口 鉄也

～修了式 校長講話より～

先日（3月10日（金））は卒業生、そして、本日はお世話になった先生方との別れがあります。寂しいことですが、節目ととらえ、新たな出会いを大事にしてほしいと思います。

今、貝塚中学校としての「令和4年度」が終わろうとしています。1年を振り返ってみて、いかがでしょうか。今年度は、新型コロナウイルス等感染拡大の影響はあったものの、行事・部活動等で、卒業した3年年生を中心に、全校生徒が活躍・躍動する姿が、新型コロナ禍前のように輝いた1年でした。これは、みなさんの努力があったからだ、改めて感謝しています。

では、各自に目を向けた時、いかがでしょうか。まずは、自分として今年1年間の頑張りはいかがでしたか。また、「このクラスでよかった。」「この学年でよかった。」「貝塚中でよかった。」と思えますか？

今年1年を振り返りつつ、気持ちを次の年に向けてほしいと思います。

1年生のみなさんには、今年度の経験を生かし、次年度、さらに成長をしてほしいと願っています。4月には、新入生が入学してきます。先輩となることも意識し、力にしてください。そして、やってみせることのできる先輩になっていってください。

2年生のみなさんは、義務教育の「しめくくりの1年」となります。同時に、卒業後の自分の進路を決めていく大事な1年でもあります。次の1年を、充実した、そして、思い出深いものにするために、どのように生活することが望ましいのかを考え、令和5年度を迎えてほしいと思います。

最後に・・・

本校は、実は千葉市唯一の請願校（地域の方々の要望によって設置された学校）です。そして、次年度に開校40年目を迎えます。記念すべき年に、更なる成長を遂げられることを願い、式辞といたします。

◎来年度は貝塚中学校、創立40周年を迎えます

令和5年度、40周年目の節目に実施される予定（確定している）のものです

○トイレ改修工事（令和5年度と6年度で全てのトイレが新しくなります）

○40周年記念事業

- ・航空写真（生徒にはクリアシートにして配布）…5月2日に撮影予定
- ・記念品の贈呈（設置）
- ・貝塚祭の時に、簡単な式典の実施

◆各学年代表生徒のこぼ◆今年1年を振り返って

約1年前にこの学校に入学し、もう1年生が終わろうとしています。私はこの1年間でクラス・学年・部活などでの協力性を学ぶことができました。中学は小学校の時よりも協力する場面というものが増えていました。新しい仲間との行事は緊張した部分もありましたが、私はこのような場面で協力できたのではないかと思います。まずは貝塚祭です。学校全体で行った初めての行事で、3学年全てが協力して成功できた行事でした。次に体育祭や学年レクです。惜しくも3学年同時開催とはなりませんでしたが、体育祭でも学年で行った学年レクでも学年が協力してくれたからこそ成功した行事だと思うからです。またそれぞれのクラスでロング昼休みに遊んだり話したり、この前は学級レクも行ったと思います。私のクラスはまさにそうだったのですが、そのような時何をやるのかなどで対立してしまうことはありませんでした。当日協力してくれてクラスで楽しむことができました。私は、楽しむということは、皆が協力してくれたからこそ楽しむことができるのではないのかと思っています。今度私たちは、2年生に上がります。そして新しく後輩が入ってきます。1年生の見本に、3年生を支える立場になるこの1年間を、行事では学校全体で協力する場面が増えてくるかもしれません。そんな時には、協力性を大切にして楽しむということの裏には、必ず誰かの協力があるということを忘れずに過ごしていきたいと思っています。

1年生代表 女子生徒（1年3組）

私はこの1年間で自分を見つめ、よりよくしていくことが大切だと思いました。自分の苦手なことや改善したほうが良い点を考え、どうすれば改善できるか策を立て、行動することで良いところに変えていくことができます。これは勉強と生活どちらにも生かしていけます。勉強の中でも特に数学に対して苦手意識が強かったのですが、自分が理解できていない部分が連立方程式を立てるところで、原因が問題文をよく読めていないことにあることに気づき、ワークや教科書にある問題に何回も取り組むことで当初より苦手意識を減らすことができました。生活の中では、自分の意見を明確に、分かりやすく話すことが課題でした。分かりやすい話では、感情を表現する言葉が豊富に使われていると思ったので具体的な策として、読書をして語らいを増やす、人の話を聞いて、良いと思った表現を身につけることを実際にいき、前より話が楽しくなりました。この二つの例からも分かるように自己分析と課題を改善するための行動を習慣化していきたいです。

2年生代表 女子生徒（2年5組）

新年度を迎えるにあたり

新年度を迎えるにあたり、制服などの確認を各ご家庭でお願いします。成長や日々の活動により、制服や上履きの汚れやほつれなどが見られます。春休み中に修繕や洗濯などを行い、新鮮な気持ちで良いスタートが切れるよう、ご家庭でも見ていただけたら幸いです。

